

第五十一回  
帝國議會  
貴族院  
日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル  
法律案特別委員會議事速記録第三號

(一〇六)

大正十五年三月十一日(木曜日)午前十時  
二十一分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是カラ委員會ヲ開會イタシマス

○子爵渡邊千冬君 外務省當局ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、先達テノ御話ニ日本ノ不確實債權ト云フモノガ三億二千萬圓餘リアルト云フ御話デアッタ、此度ノ法律ニ依ッテ、ソレガ一億圓ニ對スル分ハ政府ガ或ル特別ノ責任ヲ感ジテ居ルト云フ言葉ガ當リマスカ、特別ノ理由ヲ以テ政府ガ肩替リヤスル、サウシテ支那政府ニ對シテモ此債權ノ回收ニハ十分力ヲ盡ス、斯ウ云フ御話デアッタノデアリマスガ、私ノ今日御尋ネ致シタイト思ヒマスノハ、其外ノ二億圓餘リノ日本ノ個人、會社……個人ガアツカドウカ知リマセヌガ、日本カラ支那ノ政府ニ貸シタ債權ニ付テハ外務省ハドウ云フ御考デアリマセウカ、其御考ヲ承リタイト思フノデアリマス、私ハ此西原借款ト云フモノノ後始末ヲ、一方ニハ對内的ニ此法律ノ規定ノ如キ方法ヲ以テ日本ノ銀行ニ對シテ救済ヲスルト云フ其方針ハ結構ナコトト思ヒマス同時ニ、政府ガ支那ニ對シテ其取立ニ力ヲ致スノハ無論當然ナコトダラウト思フノデアリマスガ、其他ノ民間ノ債權ヲ抛擲シテ置クト云フ理由モ亦無イト思ヒマス、此西原借款ナルモノニ付テ其回收ニ力ヲ致スト云フノハ、日本ノ政府ガ直接ニ利害ヲ持ッテ居ルトカ持ッテ居ラヌトカ云フ、サウ云フコトダケノ理由デハナイト思フノデアリマス、詰リ是等ノ債權ハ明カナル債權デアッテ、又一方ニハ是等ノ銀行ノ爲シ

タ所ノコトハ國家的ノ觀念ニモ基イテ居ル所ガ多イト云フヤウナ理由ガ、矢張り其間ニハ無クテハナラヌト思フノデアリマス、私ハ民間カラ支那ノ政府ニ貸シタ各種ノ債權ト云フモノモ、多クハ是ハ國家的觀念ガ其間ニ餘程這入ッテ居ルト思フノデアリマス、私ハ日本ノ實業界ニモ多少關係イタシタコトガアルノデアリマスガ、日本ノ實業家ト云フモノハ世界ノ他ノ國ノ實業家ト多ク違ッテ居ルト云フコトハ常ニ非常ニ感ジテ居ッタコトデアリマス、國家ト云フヤウナコトガ頭ニアル場合ニハ、多少ノ損失ト云フヤウナコトモ眼中ニ置カズニ、仕事ニ從事スルト云フヤウナコトハ度々私ハ自ラモ經驗シテ、例ヲ舉ゲルコトガ出來ル位ニ私ハ度々經驗シテ居ルコトデアリマシテ、殊ニ此三億二千萬圓餘リト云フモノハ、多クハ日本ノタメ、又ハ東洋ノタメ、支那開發ノ爲ト云フ自分ノ一個人ノ利益ノミカラ出發セズシテ、大キイ考カラ出テ來タ債權ガ多イノダラウト思フノデアリマス、是等ノ債權ニ對シテモ日本ノ政府ハ全力ヲ用キテ其回收ニ努メルノガ至當ノコトダラウト思ヒマス、先達テ政府當局ノ御話ニ依リマス、日本以外ノ國ニモ所謂不確實債權……不確實債權ト云フコトハ名ハ餘リ好イ名デハナイノデスガ、擔保ノハッキリシテ居ラナイト云フノデセウガ、其債權ガアル、此種類ノ債權ニ付テ英國デモ米國デモ、殊ニ英國ノ如キハ最も熱心ニ其回收ニ力ヲ盡シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、日本モ同ジク力ヲ用キテ其回收ニ努メルト云フノガ當然ノコトデア

ル、少クトモ日本ノ民間カラ支那ニ貸シタ債權ハ英國邊リノ支那ニ貸シタ債權ト之ヲ較ベテ見テ、其債權ノ性質ガ國家的觀念デアルトカ、支那ノ爲ニ盡スト云フ觀念デアルトカ、所謂支那開發ノ爲ニ用ヘルト云フ觀念、ソレカラ又東洋ト云フコトカラ考ヘルト云フヤウナ、ソレ等ノ意味ハ若シ向ウノサウ云フ債權ニ含マレテ居ルナラバ、日本ノ債權ニハ一層私ハ含マレテ居ルダラウ、是ハ私ハ債權ノ性質ヲ一々知リマセヌケレドモ、私ガ接觸シタ所ノ西洋人ノ實業家ノ性質ト日本ノ實業家ノ性質トノ大ナル相違ハ其處ニアルト云フコトハ深ク私ハ經驗シタコトデアリマスガ、少クトモ同ジ性質ノ債權デアルト見マシテモ、他ノ各國ガ力ヲ致シテ居ル以上ハ、日本政府モ十分之ニ對シテ骨ヲ折ルノガ至當ノコトダラウ、又是カラ先キニ尙ホ支那ニ於テ、或ハ支那ノタメ、或ハ日本ノタメ、或ハ東洋ノタメト申シマスガ、爲スベキ事業ト云フモノハ澤山アルダラウト思フ、是等ノ事業ヲ爲スニ當ッテ日本ノ民間ノ事業家ガ今日マデ其持ッテ居ッタ債權ノ回收ニ日本政府ガ少シモ力ヲ致サナイト云フコトデアッタナラバ、此後ソレ等ノ事業ヲ爲ス上ニ於テ日本ノ民間ノ事業家ノ勇氣ト云フモノノ餘程沮喪サセル虞レガアル、サル場合ニハドウ云フ結果ニナルカト云ヘバ、又是等ノ特別銀行邊リニ強制シテ、サウシテ又數年ノ後ニハ、又ソレニ類似シタ法案ヲ出スト云フヤウナコトニナリハナイカト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點カラ考ヘマシテモ、何レノ點カラ考ヘマシテモ、私ハ此三億二千萬ノ

日本ノ有ッテ居ル債權ハ單リ西原借款バカリデナシニ、他ノ日本ノ債權ニ付テモ同ジヤウニ、政府ハ十分ノ御盡力ヲサレテ然ルベキモノト思フ、此見地カラシテ政府ニ御尋ネ致シタイノハ、政府ハドウ云フ御考ヲ有ッテ御店デニナリマスガ、又御見込ハドウデアリマスガ、又序ニ伺ヒタイノハ日本以外ノ各國ノ所謂不確實債權ナルモノニ對スル態度ニ付テ外務省カラ出來得ルダケ詳細ナ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(男爵矢吹實三君) 唯今、渡邊子爵カラ、民間カラ支那政府ニ貸シテ居ル所謂賣掛債權ノ如キモノト、西原借款ノ如キモノト多少政府ガ區別シテ見テ居ルノデナイカ、從テ賣掛債權ノ回收ガ此度ノ關稅會議ニ於ケル手加減ガ多少違フノデナイカト云フ御疑念デアッタト思フテ居リマス、此點ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテハ西原借款ノ如キモノ、即チ政府ガ多少其當時有ッテ居ッタ債權ト、民間ノ支那政府ニ對スル債權ト云フモノト、少シモ關稅會議ニ於テ、整理スル上ニ於テ、差別ノ考ヲ有ッテ居ラヌノデアリマス、不確實債權トシテ日本ガ唯今提唱シテアリマスノガ約三億二千萬圓、是ハ其内容ヲ爲シテ居ル債權ニ、ドレガ重イ、ドレガ輕イト云フヤウナ感ジナシニ、是非トモ是ダケノモノハ此關稅會議ニ於テ整理ヲシナケレバナラヌ、左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、御疑念ノヤウナ、民間カラ支那政府ニ貸シタ債權ニ對シテハ政府ハ此際整理スル上ニ於テ多少努力スル熱心ガ足リナイヤウデハナイカト云フコトハ決シテ無イノデアリマシテ、關稅會議ニ於

テ、總テ日本ノ有テ居リマス、不確實債權ニ對シテハ一樣ニ整理ニ努メル積リデアリマス、而シテ是ハ此際、唯今御審議ヲ願フテ居リマスル法律案ヲ成立セシメルコトニ依テ、關稅會議ニ於テ三銀行ノ關係シタ債權ヲ整理スル上ニ於テ都合ノ好イ狀態、即チ此度ノ法律案ガ成立スレバ、ソレダケノモノガ關稅會議ニ於キマシテ、是非トモ整理スルコトニナルコトヲ豫想シテ政府ガ此度ノ法律案ヲ出シタノデハナイカト云フヤウナ御疑念モアツカト、御言葉ノ中カラ想像シタノデアリマスガ、此度ノ法律案ハ關稅會議ニハ何等關係ヲ持タセヌノデアリマス、此法律ガ成立スル、成立シナイ、又斯ノ如キ法律ヲ提出シナクとも、支那ニ對スル債權ノ關稅會議ニ於テ整理スル上ニ於テ何等取扱ノ差違ヲ來スモノデナイノデアリマス、唯今ノ法律案ハ全ク興業銀行ト政府トノ間ノ關係カラ提出シタ次第デアリマス、關稅會議ノ交渉ノ上ニ資スル、少シモソコニ關係ハナイノデアリマスカラ、其コトハ御承知ヲ願ヒタイと思ヒマス、而シテ又英吉利等ガ自國ノ有テ居リマス此支那ニ對スル不確實債權ノ整理ニ付テ非常ニ熱心デアアル、ソレ等ニ對シテドウ見ルカト云フ御質問ガ御言葉ノ中ニアツタと思ヒマスガ、先日モ申上デマシタヤウニ、關稅會議ニハ、マダドノ位ノ關稅增收ヲ得ラレルカト云フコトヲ先ツ第一ニ決メヤウシテ居ルノデアリマス、即チ稅率ノ問題ガ今審議サレツ、アルノデアリマス、是デ是ダケノ增收ガ得ラレルト云フコトニ決マリマシタ上デ、各國ノ有テ居ル不確實債權ヲ如何ナル方法ニ於テ整理シヤウカト云フ審議ガ次ニ起リマス、併シ實ハサウ云フ所マデ關稅會議ノ進行ガ參ッテ居リマセヌ、而シテ其審議ニ這入リマシタ時ニ、各國トモ自國ノ

支那ニ對シテ有シテ居ル所ノ不確實債權ハコレアルト云フコトヲ持出シマシテ、ソレデ各、其主張シテ居ル債權額ノ妥當ナルコトヲ認メテ、初メテソコニ不確實債權ノ整理案ト云フモノハ立ツノデアリマシテ、先日申上デマシタ日本ノ三億二千萬圓ト云フノモ實ハマダ正式ニ會議ニハ其數字ヲ提出シテアルノデハナイノデアリマス、非公式ニ左様ナコトハ他ノ關稅委員ニモ申シテアルノデアリマスガ、マダ正式ニ會議ニ於テ此事ガ決定シタノデハナイノデアリマス、從テ英吉利ノ分トシテ先日モ申上デマシタ六千萬圓餘ノ金額モ、會議ニ於テソレダケヲ日本初メ他ノ國ガ至當ナル金額トシテ認メタモノデハナイノデアリマス、併ナガラ其位ナモノハ有ルコトシテ、英吉利カラモ聞イテ居リマス、又日本ノ調査ニ依リマシテモ其位有ラウト思ヒテ居ルノデアリマシテ、凡ソ日本側ノ調書ノ中ニハ、ソレ位ナ金額ヲ英國カラ主張スルコトと思ヒテ載セテアルノデアリマス、ソレハ各國トモ自國ノ支那ニ對スル不確實債權ヲ整理スルコトニ付テハ熱心サニ差違ハナイノデアリマシテ、日本ガ此際、是非トモ不確實債權ヲ整理シヤウト云フコトニ熱心デアルト同様ニ、英吉利モ亦熱心デアアルノデアリマス、ソレデ數字ノ上カラ見マシテモ明カナ通り、日本ハ一番債權額ガ餘計ナノデアリマシテ、不確實債權ノ整理、即チ關稅會議ニ於テノ整理如何ト云フコトノ影響ヲ受ケルノハ日本ガ一番影響ヲ受ケルノデアリマス、ソレ故ニ最モ熱心ニ日本ハ此債權ノ整理ヲ主張シテ居ルノデアリマシテ、英國等ノ熱心サト日本ノ全權ノ熱心サニ於テ決シテ讓ルモノデナイト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイと思フノデアリマス、而シテ先程申上デマシタ通り、此三億二千萬圓バカリノ内

容ヲ爲シテ居ル各種ノ債權ニ對シテ日本ト致シマシテハ、少シモ其間ニ輕重ノ差ヲ置カズ、民間ノモノデアラウガ、政府ノ關係ノモノデアラウガ、同様ニ此際整理ヲシナケレバナラヌモノトシテ會議ニ臨ンデ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイ

〔子爵渡邊千冬君發言ノ許可ヲ求ム〕

○委員長(子爵堀田正恒君) チョット渡邊サンニ伺ヒマスガ、今本會議ニ關稅定率法ノ改正法律案ガ上程サレテ、今大藏大臣ノ說明中デアルサウデアリマス、委員ノ方デ御出席ニナリタイト云フ方ガ多クアリマシタナラバ、此際一時休憩イタシタイと思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○子爵渡邊千冬君 若シ多數ノ方ガ其方ガ宜イト云フコトデゴザイマシタナラバ、異存ハゴザイマセヌ

○委員長(子爵堀田正恒君) 皆サンニ御諮リ致シマスガ、今關稅定率法改正法律案ガ本會議ニ上程サレテ居ルサウデアリマスガ、若シ此際御聽キニナリタケレバ一時休憩イタシタイと思ヒマス

○子爵渡邊千冬君 私ハ豫算委員會ノ方ニ今行カウト思ヒマシタガ、アスコノ廊下デ豫算委員會ハ本會議ニ拘ラズヤッテ居ルラシヤウデアアルガ、此點御參考ノ爲ニ...

○淺田德則君 チョット、私ハ聽キタイと思フ、本會議ノ方ヲ...、暫ク休憩ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ暫ク休憩イタシマス

午前十四時三十分休憩

午前十四時四十七分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是カラ開會イタシマス

○子爵渡邊千冬君 先刻ノ質問ニ續キマシテ、モウ少シ御尋ネシタイと思ヒマスノデスガ、唯今、矢吹次官ノ御說明ニ、此日本ノ三銀行ノ有テ居ル直接、間接ト云フノハ、外ノ銀行ノ這入ッテ居ルノガアルヤウデアリマスガ、詰リ西原借款ナルモノト他ノ民間ノ不確實債權ト云フモノト、其間ニ少シモ區別ヲ置カズシテ、其回收ニハ十分努力スルコトヲ明白ナル御言明ノアリマシタコトハ甚ダ満足イタシマス、ドウゾ左様願ヒタイと思フノデアリマス、ソレニ關聯シマシテ尙ホ一應伺ヒタイと思ヒマスノハ、先日私ハ政府委員ノ方カラ、日本ノ西原借款ナルモノノ、立派ト云フテ宜シイカ、正當ナル債權デアルト云フコトヲ、他ノ外國モ認メタト云フコトノ御話ヲ承リマシテ、其事ヲ満足イタスト同時ニ、疑惑ト申ス譯デアリマセヌガ、稍、懸念ヲ致シタノハ、外ノ不確實債權ナルモノヲ、他ノ外國ガ認メルカ認メナイカニ依ッテ、日本ノ政府ノ態度ガ強クナツタリ弱クナツタリスルヤウナ、變ハルコトガアリハシナイカト云フヤウナ懸念ヲ致シタノデアリマシテ、今ノ外務當局ノ御言明ヲ承ッテ見レバ、少シモ懸念ヲ致ス必要モナイヤウニ思フノデアリマスガ、併ナガラ尙ホ幾分疑ニ私ノ頭ニ明白ニナッテ居リマセヌ點ガアルノデアリマス、ソレハ支那ガ假ニ關稅增收ノ結果、歲入ニ餘裕ガアツテ、是等ノ不確實債權ノ拂戻ヲスルコト云フヤウナコトノアル場合ニ、日本ノ政府ハ支那ニ對シテ、ドウ云フ工合ニシテ其分前ヲ御請求ニナルノデアアルカ、日本ハ日本トシテ總括シテ、若シ全體ノ中カラ或ル一定ノ割合ヲ御取リニナルノデアリマシタラバ、其割合ニ付キマシテハ各國ノ間ニ異議ガ有リ得ルコトデアラウ、銘々自分ノ國ノ債權ヲ皆確實ナル正當ナル

債權ト主張シテ出ルト云フノハ想像ノ出來ルコトデアリマス、若シ左様ナコトガアルナラバ、不確實債權ナルモノハ、既ニモウ今日カラドレ、ガ確實ナル不確實債權ト云ヒマス、所謂不確實債權トシテ日本ガ主張シ得ル債權ト云フモノハ、極マテ居ラナケレバナラヌ、所ガ段々承テ見マスト三億二千萬圓餘ト云フモノガ或ハ確實デアルガ如ク、或ハ不確實デアルガ如ク、此數字ハマダ明白デナイヤウナ御言葉ガ外務次官ノ御言明ノ中ニアッタヤウデアリマス、サウデアッテ見レバ、所謂確實ナル不確實債權ハドレ、アルカト云フコトニ付テノ御用意ガマダ出來テ居ラヌ、從テ政府ノ御決心ガマダ著イテ居ラヌト云フヤウナ氣ガ致スノデアリマス、西原借款ニ對シテハ強イ御主張ヲ持テ居ルナラバ、外ノ債權ニ付テモ同ジク明白ナル觀念ヲ以テ掛ラナケレバ、今カラ勘定シテ掛ルト云フヤウナコトデハ、ドウモ幾ラカ其間ノ取扱ニ差違ガアルノデハナイカト云フヤウナ氣ガ致スノデアリマス、況ヤ、支那カラ來ル金ト云フモノハ、ナカ、二年ヤ三年デ金額ヲ拂込ムト云フコトハナイヤウニ思ヒマス、是等ノ點ハマダ極マテ居ラヌト云フ御答辯デアルカモ知レマセヌガ、若シ長イ年月ニテ支那カラ之ヲ回收スルト云フヤウナコトデアリマスナラバ、餘程不確實債權ト雖モ其觀念ヲ明白ニシテ置カナイト云フト、動モスレバ、ドレカラ先キニ拂戻シテ參ルト云フ其取扱ニ於テ明白ヲ缺クト云フヤウナ虞レガアリハシナイカト思フノデアリマス、一方ニハ此様ナ法律マデ出シ數字ヲ含シテ法律マデ出シテ、債權ノ額ノ明白ナルニ拘ラズ、一方ニハ數字モ明カデナイガ、併シ同ジク請求ハスル積リデアルト云フヤウナコトデハ、他ノ列國モ之ヲ確實ナル不

確實債權トシテ認メルヤ否ヤ疑ハシヤウナ氣ガ致スノデアリマス、外務當局ノ御決心ノコトモ稍、其間ニ心配ニナルヤウナ點ガアルヤウニ思ヒマス、其邊ハ改メテ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(男爵矢吹省三君) 私ガ三億二

千萬ト申シテ數字ニ付テ多少マダ曖昧ナ點

ガアルノデヤナイカト云フ御懸念ガアルヤ

ウデアリマス、實ハ此數字ハ先程モ申上

ゲマシタ、關稅會議ニ於テ日本ハコレ、

ダケノ債權ヲ持テ居ルモノトシテ正式ニ

確認サレタノデハナイノデアリマス、即チ

會議ガソレマデマダ進ンデ居ラヌノデアリ

マス、是ハ唯、日本ニ對シテノミナラズ、

英吉利ノ分ニ對シマシテモ、亞米利加ノ分

ニ對シマシテモ、左様ニマダ確定シテ居ラ

ヌノデアリマス、デアリマスカラ亂暴ニ言

ヘバ其會議ノ其問題ヲ議スル機會ガアツタ

際ニ、是ダケハ英吉利ノ分ニ付テモ亞米利

加ノ分ニ付テモ日本ハ認メナイゾト云フコ

トヲ言ヒ得ル餘地ハアルノデス、同様ニ英

吉利其他ノ國カラ日本ノ不確實債權トシテ

計上シタモノニ付テモ、此分ハ否認スルト

云フコトヲ言ヒ得ル機會ハ殘テ居ルノデ

アリマス、日本トシテハ、ドウシテモ

此關稅會議ニ於テ整理シナケレバナラヌ債

權ハ三億二千萬圓アルト云フコトハ、日本

當局トシテハ腹ヲ極メテ居ルノデス、從

テ此額ニ任ヒノ生ジナイヤウニ、即チ他ノ

國カラ否認等ノナイヤウニ、十分其時ニ於

テ進ム積リデアリマス、豫メ今日ノ非

公式ナル會議等ニ於テ認メタ所ニ依ルト、

恐ラク左様ナ亂暴ナコトヲ其時ニナッテ言

ヒ出ス國ハナイモノト信ジテ居ルノデアリ

マス、而シテ此數字ト申シマスノハ、マダ

確定數字ト御承知下サラマデ、其時ノ關稅

會議ノ審議ガ済ミマセヌ上ハ確定シナイコ

トトシテ御承知ヲ願フテ置カナケレバナラ

ヌノデアリマス、而シテドウ云フ風ナ方法

ニ依テ整理サレルモノデアアルカト云フコ

トハ、勿論、關稅會議ノ其機會ニ於テ決定

スルコトデアリマシテ、方法ヲ豫メ申上ゲ

兼ネルノデアリマス、日本ト致シマシテ

ハ不確實債權ト云フテ整理ヲ要求スル、其内

容ヲ爲シテ居ル各債權ニ付テ少シモ差等ノ

ナイヤウニ、或モノハ有利ニ致シ或モノハ

不利ニ致スト云フヤウナコトノ起ラヌヤウ

ニ均等ニ整理サレル案ヲ提出シ、且ツソコ

ニ會議ノ結果ヲ來シタイモノデアアルト云フ

コトヲ期シテ居ルノデアリマシテ、其方法

ハ十分當局ノ方ニ於テハ案ヲ立テ居ルノ

デアリマス、實ハマダ其會議前デモアリ

マス、多少マダ發表シ兼ネルノデアリマ

ス、主義トシテハ其間ニ差等ノナイ均等ノ

案ヲ以テ進ムコトト御承知ヲ願ヒマス

○政府委員(武内作平君) 唯今、外務省ノ

政務次官カラ御答ヘ致シマシタコトニ付キ

マシテ、チヨット私補足イタシテ置キタイ

ト思ヒマス、ハ、此間カラ或ハ私共ノ申上

ゲマシタコトニ關聯シテ御質問デモ生ジテ

居ルノデハナイカト考ヘマス、最初ニ御尋

ニナリマシタ民間ノ債權ト對支借款即チ國

ノ借款ト差別スルヤウナコトハナイカト云

フコトニ付テ、其程度ノ御了解ヲ得ル爲ニ

申上ゲマス、寧ろ大使ガ出發スル前ニ於

キマシテ、民間ノ方ノ債權者ノ側ガ、政府

ノ債權ヨリモ優先シテ辨濟ヲ得タイト云

フ、ナカ、強イ要求ナドガアッタノデア

リマス、ケレドモ政府ト致シマシテハ、政

府ノ債權ヨリモ民間ノ債權ガ契約ニ依テ

優先サレテ居ル分ハ是ハ別デアリマス、ケ

レドモ、一般ノ不確實債權ニ付テ其方ガ優先

シテ居ルト云フコトハ認メラレナシタノ

デアリマス、少クトモ同一ノ程度ニ於テ之

ヲ整理シ、之ニ努力スルト云フコトニ付テ

ハ、政府ノ方ニ於テハ何等民間ノ債權ヲ輕

ク見ルト云フコトハナイノデアリマシテ、

寧ろヨリ重ク見タイト云フ程度ニナッテ居

ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイ

ノデアリマス、ソレカラ其次ニ此全體ノ

債權デアリマス、是ハモウ無論債權ノ數

ニシタ所ガ、種類ニ致シマシタ所ガ、是ハ

確定イタシテ居リマシテ、其間ニ曖昧ノモ

ノガアルト云フヤウナコトハ毛頭ナイノ

デアリマス、唯之ヲ確定ト申上ゲ兼ネタ

點ハ、此算盤デ初メ何百圓アルト、斯ウ見

テ居リマシテモ、色々利息ノ勘定トカ、或

ハ斯ウ云フ品物ガ向フヘ行ッテ居ルト思ッ

ク、マダソレハ不著ノ分ガアルト云フヤ

ウナモノハ精算シナケレバナラヌト云フヤ

ウナ風ノ事情ガアリマス、丁度此表ニ

現ハレテ居リマス、金額ガ何時マデモ其通

リ一錢一厘違ヒガナイモノデアアルト云フコ

トハ申上ゲラレヌノデアリマシテ、大體ニ

於マシテノ數ニ於キマシテモ、債權ノ種

類ニ於キマシテモ、決定ヲ致シテ居リマス

ノデ、其點ハ成ベク御懸念ヲ願ハヌヤウ

ニ致シテ差支ナイト思ヒマス、ソレカラ其

次ニ此債權確定ノ問題デアリマス、是ハ

御承知ノ通り大體ノ相手ハ支那ナシデアリ

マス、カラシテ、ソレデ支那ノ方ニ是等ノ債

權ハ、支那ノ現在ノ當局者ガ借リタモノニ

相違ナイ、支那ノ債務デア、斯ウ云フコ

トヲ認メテ居ルノデアリマス、外國ノ

關係ニ於キマシテハ、他ノ政務次官カラ申

上ゲタヤウナ風ニ、マダ公式ニ之ヲ決定ス

ル上云フヤウナ風ノコトハナイノデアマス、ケ

レドモ、大體ニ於テ此債務者デア、此債務ニ

那ガ承知ヲ致シテ居ルノダカラ、此債權ニ

在ヒガ生ジテ來ルト云フヤウナコトハナイ

コト考ヘテ差支ナイト、思ッテ居リマス、

ソレカラ外國トノ關係ニ於キマシテハ、是ハ餘程非公式ナ話デアリマスガ、例ハ外國ノ方ノ債權ニ於キマシテハ、名前ハ債權トナッテ居ルケレドモ、實際ノ事實ニ於テハ金ガ與ヘテナイト云フヤウナモノガ、佛蘭西アタリニハアルカト云フヤウナ風ノコトヲ承テリスルノデアリマス、無論是ハ確實ニ受合フコトノ出來ル話デハナイノデアリマス、其一面ニ於テハ從前ニ於テ此公式ノ話決定シタ譯デハアリマセヌケレドモ、日本ノ債權ノ中ニモ此故障ノアルモノガアルナドト云フコトヲ、外國デモ言ッテ居ルト云フヤウナ風ノ話ヲ聞イテ居タノデアリマスガ、最近達シタ所ノ情報ナドニ依リマスルト、實際ハサウ云フ金ヲ與ヘテナイト思ッテ居タ其金ハ、確實ニ出テ居ルノダ、是ハモウ無論當然ノ債權デアルト云フ風ノ氣分ニ一般ガナッテ居ルト云フヤウナ情勢モ承ッテ居ルノデアリマス、併シソレハ外國トノ關係デアリマスカラ、無論ソレガ正式ニ審議サレタ譯デハナイノデアリマスカラ、對國際的ノ關係ニ於テドウ云フモノガ認メラレタトカ、決定サレタトカ云フコトハ、申サレマセヌケレドモ、兎モ角モ債權ノ相手デアアル債務國ノ支那ニ於テハ、是ダケノ金ノアルト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマスカラ、此債權其モノニ大シタ狂ヒガ來ルトカ、又是ガ認メラレヌトカ云フヤウナ風ニナルト云フヤウナコトハナイト云フコトヲ確信ヲ致シテ居リマス、唯ダ相違ガアルカモ知レヌト云フノハ、今ノ計算等ヲ致シマスルト、其方ニ狂ヒガ生ジテ來ヤシナイカ、ソレカラ今後ノ方針デアリマスガ、ドウ云フ風ナ始末ニシテ金ヲ取立テルト云フヤウナコトニナリマスレバ、ソレハ債權ガ國際的ニ何レ協議ガ出來テ、同ジク不確實ナ債權ト云フコトニナレバ、

是モ大體ニ於テ無差別ニ取立テルト云フコトニナルノデアリマスルガ、其方法ト致シマシテハ、色々會議ニ於テ審議サレルコトト思ヒマスケレドモ、多分相當支那ノ公債デモ發行シテ、ソレヲ以テ……或ハ償還期限ガ或部分ノモノハ長クナリ、或部分ノモノハ短クナルト云フヤウナ風ノコトハアリマセウガ、一面ニ於テ償還ノ期限ガ長クナレバ、ソレニ對スル利息ノ計算ト云フヤウナ方法ニ依ッテ結局平等ナ債權、平等ナ待遇ヲ得ルコトニナリ得ルト考ヘテ居リマスノデ、是ハ決定的ノモノデヤアリマセヌケレドモ、チヨット御參考ニ申上ゲマス、先程私共ガ申上ゲマシタコトノ諒解ヲ得ルニ便宜カト思ヒマスカラ、ソレダケノコトヲチヨット懇談的ニ申上ゲタノデアリマス

○子爵渡邊千冬君 此不確實債權ノ三億二千萬圓餘ト云フモノハ、マダ多少ノ相違ハ來スカモ知レヌト云フ御話ハ、債權ノ種類ニ依ッテ多少或ハ省キ、或ハ又新シク債權ガ出テ來テ變更スルコトガアルカモ知レナイト云フ意味デハナク、債權ナルモノハモウ定マッテ居ルケレドモ、其計算ノマダ終ラナイ爲ニ、即チ賣掛代金デアレバ、物品ガ向フノ方ニ納付シテアルヤ、否ヤト云フコトガ不明デアアル爲ニ、或ハ變ルカモ知レヌト、斯ウ云フ御話デアッタノデアリマスカ、外務次官ハ關稅會議ガ開カレテ見ナケレバ、此額ハ決マラナイト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ今ノ大藏次官ノ御話ノ方ガ……後トカラ御話ガアッタ所デ見ルト、サウ見テ宜シイノデスカ

○政府委員(武内作平君) 大體外務次官ノ御意見ト、私ノ意見トハ違ッテ居リマセヌト思ヒマスガ、先キニ申上ゲマシタヤウニデスナ、正式ニ或ハ國際的ノ關係ニ於テ、總

テノ關係ニ於テ、此債權ガ既ニ確定シテ居ルモノカ、ドウデアアルカト云フコトニナレバ、マダソコマデハ進ンデ居リマセヌ、今後要スルニ外交談判ヲヤッテ居ルノデアリマスカラ、ドウ云フ風ニ變化ガアルカモ知レヌカラ、決定的ノモノトハ申上ゲラレナイノデアリマスケレドモ、私ガ懇談的ニ申上ゲマシタヤウニ、此内容ガドウ云フ風ニナッテ居ルカト云フコトニナリマス、私ガ申上ゲタヤウニナルノデアリマスカラ、債權ソレ自身ニ付テ、今後アルト思ッテ居ルモノガ消エテ仕舞タリ、又主張シテ居ルモノノ非常ニ讓歩シタリスルヤウナ風ノコトハアリハシナイカト云フ御懸念ノ部分ニ對シテ、サウ云フコトハアリマセヌ、サウ云フコトハハシナイ決心ヲ以テ、政府ハ何處マデモ此仕事ヲヤッテ行キマス、斯ウ申上ゲルコトガ出來マスカト思ヒマス

○子爵渡邊千冬君 政府委員ノ御話ニ依リマス、日本ノ支那ニ對スル債權ハ支那ヲ相手ノモノデアッテ、支那デ其債權ヲ認メテ居ル以上ハ、此債權ト云フモノハ確定シテ居ルモノデアアルガ、是ハ國際間デ最後ノ決定ヲシナクテハナラヌモノデアアルカラ、マダ結局日本ノ債權ノ總額ト云フモノガ幾ラニナッタト云フコトハ明白ニハ言ヘナイト、斯ウ云フ御話デゴザイマス

○政府委員(武内作平君) サウデハアリマセヌ、債權ノ額ナドモ、チヤント決ッテ居リマスケレトモ、矢張り之ニドウ云フ異動ガ生ズルカモ分リマセヌカラ、丁度今申上ゲデアリマスル金額ニ一錢一厘モ違ヒハナイヤウニ、例ハソレガ公債ニ變ルトスレバ、ソレダケノ金額ガキナリ決ッテ來ルカドウカト云フ所マデハチヨット申上ゲラレマセヌト云フ意味ニナリマス

○子爵渡邊千冬君 ソレデハ日本ノ要求セ

ムト欲スル債權ハ決ッテ居ル……

○政府委員(武内作平君) ハイ……

○子爵渡邊千冬君 サウシマスルト、其債權ノ内容ヲ表ニシテ何フコトガ……承知イタシタイト思ヒマスガ、御知ラセ願フコトガ出來マス

○政府委員(男爵矢吹省三君) 無論差支ナイト考ヘテ居リマス

○子爵渡邊千冬君 ソレデハ外務當局ナリ、大藏當局ナリ、債權ノ内譯ヲ承リタイ、額ハ今御話ノアリマシタ通り多少相違ノアルト云フコトハアルモノトシテ承知ヲ致シマス、名前ト大體ノ額ダケヲ……

○政府委員(武内作平君) 斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キマス、先ニ申上ゲマシタ最後ノ決定ヲ受ケル迄云々ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、其處デ此通りニソレヲ皆申上ゲマシテモ、申上ゲルコトハ差支ナイガ、其中ニ或ハ整理ノ中ニ國際的關係等デ色々此交渉ノ結果デ總テノモノガ必ズ這入ルト云フコトガ今カラ確定シテ居ル譯デハナイノデアリマスカラ、其處ヨク……

○子爵渡邊千冬君 大體大藏省ノ政府委員ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、私モサウ云フコトハアリ得ルダロウト實ハ思ッテ居ル、先刻大藏次官ハ外國ノ債權ニモ疑ハシイモノガアルヤウナ御話ガアッタ以上ハ、之ニ對シテ日本ガ抗議ヲ申出デルト同ジコトデ、外國カラモ亦日本ノ債權ノ或ルモノニ對シテ抗議ヲ申出デルトコトガアリ得ルト思フ、併シ外務次官、大藏次官ハ、債權其モノハ確實不動ナモノデアッテ、或ハ公債デ渡ストカ或ハ物品ヲ納入シタヤ否ヤト云フ關係デ金額ニ多少ノ違ヒガアルト云フコトヲ確實ニ言ハレタノデアリマスガ、ソレハ私ハ大變ニ喜ンデ居リマス、債權ガ確實的デ外國カラドウ云フ抗議ヲ申出テモ、日本ハ一遍

言ヒ出シタ債權ハ引込メナイ、唯數字ノ異ナルト云フコトヲ言フノデアリマスガ、私ハ豫期以上ニ喜ンデ居タルデアリマスガ、唯私ト致シテハ外國ノ主張スル或ル債權ガ正當ナル債權デナイモノガアルナラバ、而シテソレニ對シテ日本カラ故障ヲ申出デルカモ知レヌト云フコトガアル以上ハ、日本ノ債權ニ對シテモ外國カラサウ云フコトガアリ得ル、當局者ハ支那デアリマス、併ナガラ支那カラ支拂フ金ト云フモノハ、世界各國ガ持テ居ル確實債權ノ總額ヲ「カバ」スルコトガ出來ナイ以上、其間分テ取り競争ガ初マルコトハアリ得ルコトデアルカラ、甲ノ債權ハ宜イガ、乙ノ債權ハ不確實デヤナイカト言ヒ得ルダラウト思フテ居タルデアリマスガ、ソレガナイト云フ御話ヲ伺フテ、私ハ大變喜ンデ居タルヤウナ次第デ：

○政府委員(武内作平君) ソレハ要スルニ日本政府ノ主張、又日本政府ガ交渉スルニハ、相當ナル調査ヲシテ、又根據ヲ持テ居ルカ居ナイカト云フコトニナレバ、先ニ申上ダタヤウナ腹ヲ以テ、又相當ナル決心ヲ持テ居リマス、唯最後ニ子爵カラ御話ガアリマシタヤウニ、コッチカラ行クノニハ其腹ヲ持テ居リマスケレドモ、今ノヤウナコトガ、成程子爵ノ御説ノヤウナコトガアリ得ナイコトハナイノデアリマスカラ、又コチラデハ今日ニ於テハ此金ハ完全ニ向フニ交附サレテ行ッテ居ルト思フテ居リマスケレドモ、途中デ唯最後ノ決定ヲシテ見ナイト云フト、ドウ云フ算盤ノ違ヒガ出テ來ルカモ判ラナイノデアリマスカラ、決定的ニソレガ會議ヲ經テ決シタ上デナイト、確實不動ナルモノトハ申上ダラレマセヌ、唯私ノ申上ダタハ此相手ガ認メテ居リ、又自分ノ方デモ之ヲ正當ナル、而シテ主張シテ居

ル腹ニ於テ、唯杜撰デグラ一シテヤッテ居ル、サウ云フコトハナイカラ御安心下サイト云フ、斯ウ云フヤウナ二點ニ御説明申上ダテ居ルノデアリマスカラ、チヨット單純ニ理論的ニナッテ參リマス、答辯ニ窮スルノデアリマスガ、唯真相ノ御諒解ヲ得ル爲ニ今ノヤウニ申上ダタノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○子爵渡邊千冬君 政府委員ノ御話ハヨク了解イタシマシタ、唯私ガ之ヲ御尋ネ致ス譯ハ、此不確實債權ト云フモノノ債權其モノハ成ルタケ認メサセル積リデ交渉ヲ初メルト云フ御話デアリマスガ、是モ御尤モノコトト思ヒマス、唯支那カラ假リニ不確實債權ヲ支拂フ爲ニ一定ノ額ガ來ルト云フヤウナコトニナル場合ニハ、ドウ云フ工合ニ其金ヲ御分ケニナルノカ、ソレハナカ一ムツカシイ計算ニナルダラウ、直チニ拂ハナケレバナラナイト云フ約束ノモノモアリマセウ、モウ既ニ餘程前ニ拂ハナケレバナラナカシタモノガ溜テ居ルモノモアリマセウ、又今後數年間ニ拂ヘバ宜イモノデ、一遍モ拂テ居ラヌモノモアリマセウ、利息ノ契約ノ付イテ居ルモノモアリマセウ、無利子ノモアリマセウシ、是等ノ各條件ヲ綜合シテ、而シテ總テノ債權者ガ満足スルヤウニ少シツツ分配シテ返シテヤルト云フコトハナカ一ムツカシイコトダラウト思フ、若シ政府ニ於テ其邊ノ何カモウ御決定ニナリマシタ良イ御考デモアリマスガ、ソレモ承リタイノデアリマス

○政府委員(武内作平君) マダ御承知ノ通りニ、債權ソレ自體ガ、ドウ云フ方法デ、ドレ程、ドウ云フ時期ニ於テ取レルト云フコトモ決定シナイノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テハ何等決テ居リマセヌ、ソレハ債權ノ取り立方法等ガ一定スルノニ從ッテ、最モ機宜ニ適シタ方法ヲ十分ニ研究シテ取りタイ、唯此對支借款ノ關係ニ付テハ金ガ這入テ參リマスルト、先ヅ公債ノ：：：貸借關係ノ公債ノ利子デアルトカ、ソシテ更ニ其以上ニ出テ來ルモノニ依ッテ、公債ノ償却スルト云フ方法ヲ執リタイト云フコトニ、サウ云フコトニ今日ハ大體腹ヲ決メテ居リマス

○子爵渡邊千冬君 再ビ多少ノ疑念ヲ持テ參ッテ譯デアリマスガ、關稅會議等モ早晩ドウカ決マルコトト思フ、ソレト共ニ此不確實債權ヲドノ位ノ程度ニ於テ償還セシムルコト云フコトガ決ルノデアリマセウガ、マダ債權ノ内容ガ能ク分ラナイカラ胸算ガ立ッテ居ラス、此對支借款ト申シマスノハ、其事デゴザイマスガ、一億圓ノコトデアリマスガ

○政府委員(武内作平君) エー最後ニ申上ダマシタノデ：

○子爵渡邊千冬君 此一億圓ノ債權ニ對スル利息ヲ取ッテ外ノ債權ニ付テハ、債權ノ内容ガ分ラナイカラ、ドウ償還スルト云フ方法ガ立ッテ居ラヌト云フコトデアリマスガ、早ク御決メニナラナケレバ間ニ合ハヌト思ヒマスガ：

○政府委員(武内作平君) ソレハ決メヤウニモ、分配ノ方法等ハ決メラレヌデスナ、マダ關稅會議ノ模様モ御承知ノ通り、ドレ程此不確實債券ノ償還ノ資源ガ出來ルカト云フコトスラモ決定シテ居ナイノデアリマスカラ、今ドレ稅關稅ノ收入ガ殖エルモノカト云フコトヲ先ヅ決定ヲシテ、關稅ガ殖エマスレバ、其中デ或ハ行政費ハドレ程要ル、其他釐金稅デスカ、斯ウ云フモノノ廢止ノ爲ニドレダケノ資金ガ要ルト云フヤウナコトヲ、大體協議シタ結果、不確實ノ債務ニ向ッテドレ程當テヤウカト云フコトガ

決ッテ參リマスノデアリマスカラ、今日ノ所デハドレ程不確實債務ニ充當スル金ガ出テ來ルカト云フコトガ決ッテ居ナイノデアリマス結局決ッテ居ナイ、サウスルト云フト、從ッテ短期ノ公債デ還セルカ、或ル部分ノモノハ短期バカリデハナイ長期ノモノニナルカ、又短期ト長期ト混合シタ公債ヲ發行スルヤウニナルカ、或ハ公債ノ利子ニ致シマシテモ、期限ノ短カイモノハ利子ガ非常ニ安クテ、期限ノ長イモノハ利子ガ高イモノニナルト云フヤウナ種々ノコトガ想像サレルノデアリマスガ、ソレガ決リマセヌト、其中ノドレダケノモノヲ擬テ分配スルト云フ目安ガ付イテ參ラヌノデアリマス、ソレデ今日ノ所デハ、マダソコマデ取レタ時ニハ斯ウスル、アスルト云フコトハ、方法ヲ立テヤウニモ立テマセヌノデアリマス、唯ダ後ニ申上ダマシタノハ假ニサウ云フ場合ガ生ジテ、對支借款ノ金ガ這入ッテ來タナラバ：：：對支借款ニ關係シタ金ガ這入ッテ來タナラバ、ソレヲ何ニ使フノカ、今ノ一般ノ御質問ノ範圍ヲ離レテ、此問題ガ能ク來ル問題デアリマス、其點ニ付テハドウ云フ方法デ這入ッテ來ルカ分ラヌケレドモ、這入ッテ來マシタナラバ、對支借款關係ニソレヲ利用スル積リデ居ル、斯ウ申上ダマシタ次第デ、方法ヲ立テヤウニモ今日ノ所デハ立チマセヌノデアリマス

○子爵渡邊千冬君 若シ關稅改正ノ結果、支那ノ歳入ガ殖エタ場合ニ、日本ノ不確實債權ヲ回收スル方法トシテハ一債權毎ニ御請求ニナルノデスカ、之ヲ始末シテはダケ日本ニ取ル債權ノ總額ガアルカト云フコトデ、御請求ニナッテ、ソレカラ列國トノ關係ニ於テ、全部ノ債權カラ幾ラツツニナルト云フヤウナコトハ、ドウ云フ條件デ決ルノデスカ、今ノ政府委員ノ御説明デ對支

借款ノ利息ガ入ッテ來タ時ハト云フ御話デアリマスガ、其御言葉ニ依ッテ考ヘテ見マスト、此債權ハ此債權ノ利子トシテ、有線電信ノ賣掛代金千二百萬圓ハ千二百萬圓ト、ソレガ幾ラカ入ッテ來ル、サウスレバ何モ分配ノ面倒ハ少シモナイ、ドノ債權ニ幾ラト指定シテ支那カラ這入ッテ來レバ、少シモ心配スルコトハナイ、私モ心配シ、政府委員モ心配ニナツタコトハ非常ニ面倒デアルカラ分ラナイ、又之ヲスッカリ同等ニ扱ウト云フコトナラバ、其面倒ノ方ニ自然ト是ガ向イテ行クノデハナイカト思ヒマスガ、之ヲ一々別ニ支那ニ請求スレバ、平等ト云フコトハ少シ失ハレルノデアリマスガ、仕事ノ處置ハ相當易クナルト思ヒマスガ、其邊ノ所ハ先刻ノ御話ト今ノ御話ト矛盾シテ居ルヤウニ思ヒマス、モウ一應改メテ……

○政府委員(武内作平君) 後ニ申上ダタノハ、是ハ全然……、斯ウ云フ風ニ申上ダマセウ、此對支借款ノ辨濟ヲ得ラレル方法ニ付テ詳細ナコト、即チ或ハ公債ヲ取ルカ、ドウ云フ風ニ公債ガ取レルカ、總金額ガドウ云フ風ニ取レマスカト云フヤウナコトハ、分ッテ居ルカト云フコト分ッテ居ナイ、マダソレハ今交渉中デアリマスカラ、サウ云フ風ノコトハ分リマセヌガ、ソレガ分ッテ後ニ決マルベキ分配方法等ノコトニ付テハ、何等マダ考慮ヲ致シテ居リマセヌ、ソレガ決マリマシタナラバ、最善ノ方法デ公平ニ皆ノ満足スルヤウナ方法ヲ講ジテ、其始末ヲ致シタイト考ヘマス、斯ウ云フノガ子爵ニ對スル答辯デアリマス、ソレカラモウ一ツ離レテ今回此法律ニ依ッテ一億萬圓ノ處置ヲシテ仕舞ウガ、處置ヲシタ以外ニ、此國民ノ負擔ニ依ッテ此資源ヲ整理スル、其後ニ支那カラ金ガ這入ッテ來タラ、ドウス

ルノカ、ト云フ御尋ネガ能ク何時デモアリマスカラ、其場合ニ對シマシテハ矢張りサウ云フ金ガ遅イカ早イカ這入ッテ來ルト云ウコトハ期待イタシテ居リマスガ、這入ッテ來マシタナラバ、矢張り此法律關係ノ始末ヲスル資源ニ致シタイト考ヘテ居リマス、斯ウ云フ答辯ニナリマスノデアリマシテ、其コトハ此分ダケハ分ッテ居ルカラ、サウ決メルト云フノデハナイ、終リノ方ノヤツハ範圍ノ廣イ答辯デアリマスカラ……

○委員長(伯爵堀田正恒君) 渡邊子爵ニ御諮リ致シマスガ、此件ニ付テハ政府ト懇談的ニ御話シタ方ガ能ク分ラウト思ヒマスガ、一應懇談トシテハ如何デアラウカト思ヒマスガ

○子爵渡邊千冬君 宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ止メテ……

午前十一時二十九分速記中止

午前十一時四十一分速記開始

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ始メテ……

○政府委員(武内作平君) 此間……是ハ委員長ガ本議場デ御報告ナサルノニ、唯私ノ方カラ老婆心デ考ヘマシテ、御迷惑ト思ヒマスカラ申上ダマスガ、此間頃非常ニ入込ンダ御説明ヲ申上ダテ置キマシタガ、此關係ニ於テニ銀行ガ特ニ利益ヲスルヤウナコトハナイカ、不當ニ利益ヲサセルト云フコトハナイカト云フ御質問ガ、渡邊子爵カラ御質問ガアリマシタ、ソレニ對シマシテ色細イ御話ヲ餘リ申上ダマシタカラ、アレハアノ通りヲ議場デ御報告ヲ願フト云フコトハ非常ニ煩雜デアラウト思ヒマスカラ、アノ御質問ニ對スル結論ダケヲ簡單ニ申上ダテ置キタイ、ソレハ今回公債ヲ發行シテ

此事件ノ結末ヲスルト云フコトニナルト、三銀行ガ特ニ不當ノ利益ヲシナイカ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、少シモ不當ノ利益ハ得サシマセヌ、從來ノ對支借款ニ書イテアル所ノ條件ダケガ履行サレテ、サウシテ銀行ガ受クル……履行サレタ場合ニ於テ銀行ガ受クル利益ハ、通常銀行ガ取ル利益デアリマスガ、其利益スラモ今回ノ公債發行ニ依テハ利益ヲ得ラレヌコトニナッテ居リマス、其場合ト比較シテ見マスト云フト、三銀行ハ尙ホ百十餘萬圓ノ損ヲスルコトニ相成ルコトニナル割合デアリマスカラ、決シテ不當ニハ利益ヲ得サセル如クニハ此法案ハ致シテアリマセヌ、此コトヲ申上ダテ置キマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ今日ハ是デ散會イタシマス

午前十一時四十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君  
副委員長 淺田 德則君  
委員 子爵渡邊 千冬君  
子爵舟橋 清賢君  
男爵千秋 季隆君  
太田 清藏君  
若尾謹之助君

政府委員

外務政務次官 男爵矢吹 省三君  
大藏政務次官 武内 作平君  
大藏省理財局長 富田勇太郎君